

# 稚内市地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

市民が将来にわたって安心して住み続けることができるまちづくりには、誰もが安心して移動することができる地域公共交通ネットワークの構築が必要不可欠であることから、「稚内市地域公共交通計画」を策定し、地域のさらなる発展を支えるまちづくりと一体となった持続可能な公共交通網を構築するため、取組みを進めているところである。その一環として運行する「天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー」は、通学・通勤・通院などの生活に欠かせない地域の足として定着していることから、今後も運行を継続する。

## 生活交通確保維持改善計画の目標

### ■天北地区、恵北・増幌地区

【目標：利用者の維持・増加及び収支率の増加を目指す】

- ・利用者平均650人/月（R5.4～R6.3実績：625人/月）
- ・収支率10%以上（R4.10～R5.9実績：9.84%）

## 令和7年度事業概要

### ■天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー

- ・天北地区、恵北・増幌地区各戸から稚内駅前ターミナルまで
- 【市街地方面行き：5便 天北方面行き：4便】

| 利用料金                                 | 潮見5まで<br>《区間1》 | 南駅前まで<br>《区間2》 | 稚内駅前Tまで<br>《区間3》 |
|--------------------------------------|----------------|----------------|------------------|
| 【区域1】 恵北・増幌                          | 200円           | 300円           | 400円             |
| 【区域2】 樺岡・上声問                         | 400円           | 500円           | 600円             |
| 【区域3】 沼川・川西・曙<br>・川南・開進・豊別・天興<br>・曲渚 | 500円           | 600円           | 700円             |

## 地域公共交通の現況

- 航空機(ANA：羽田便・新千歳便、FDA：チャーター便)
- 鉄道(JR北海道：宗谷線(稚内、南稚内、勇知、抜海(R7.3.15廃止)))
- 路線バス(宗谷バス：市内路線/7路線、地域間幹線/1路線)
- 都市間バス(宗谷バス(株)：1路線)
- 船舶(ハートランドフェリー(株)：利尻・礼文航路)
- タクシー事業者2社(稚内日の丸交通・北都ハイヤー)
- スクールバス(7地域)

## 協議会開催状況

- 令和6年度第4回協議会(R7.3.24開催)
  - ・乗合タクシーに係るアンケート調査について
  - ・R6事業経過報告
  - ・R7事業計画案及び予算案
  - ・協議会財務既定の制定について
- 令和7年度第1回協議会(R7.6.16開催)
  - ・R6事業成果・会計決算報告
  - ・R7地域内フィーダー系統確保維持計画(案)
  - ・抜海クトネベツ地区乗合タクシー経過報告
  - ・勇知地区乗合タクシーの臨時運行について
- 令和7年度第2回協議会(R8.1.16付書面)
  - ・抜海・クトネベツ地区乗合タクシー運行状況
  - ・地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価

# 令和7年度事業の実施状況

## 1) プロセス、創意工夫

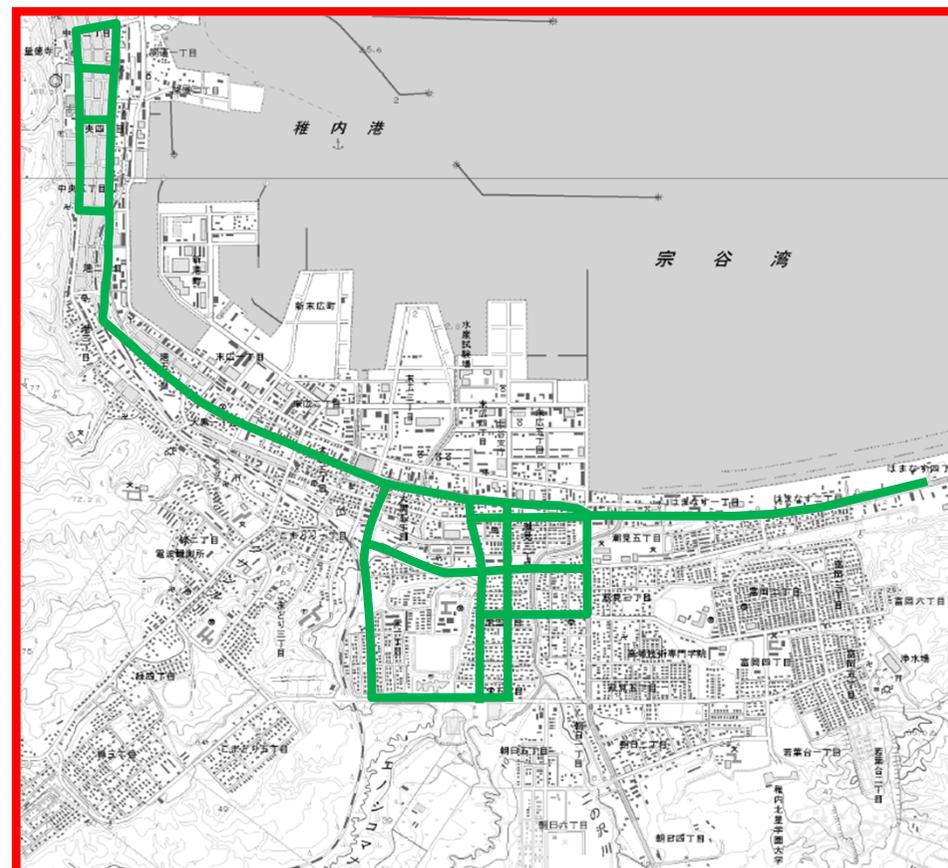
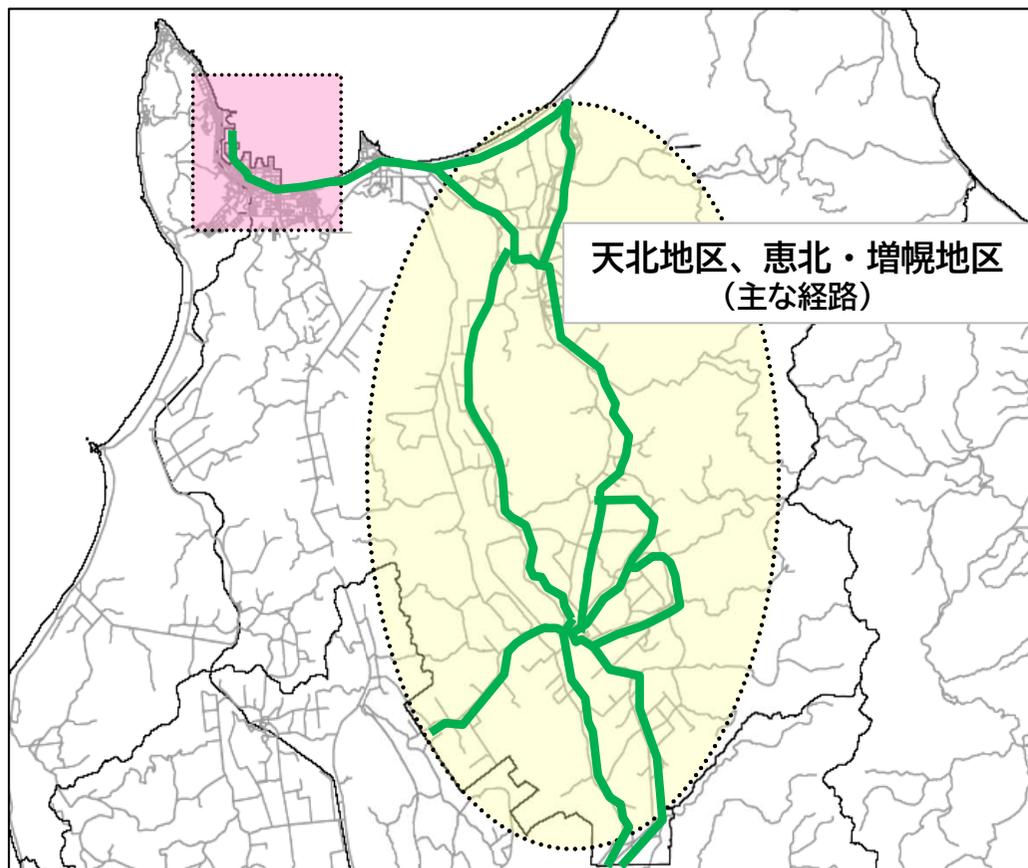
### 【プロセス】

- ・旧天北線バスの経路変更をはじめとする郊外バス路線の再編に伴い、代替交通としてH23年10月から本格運行となる。
- ・持続可能な交通ネットワークを確保を目指し、令和2年4月に再編を実施した。

### 【創意工夫】

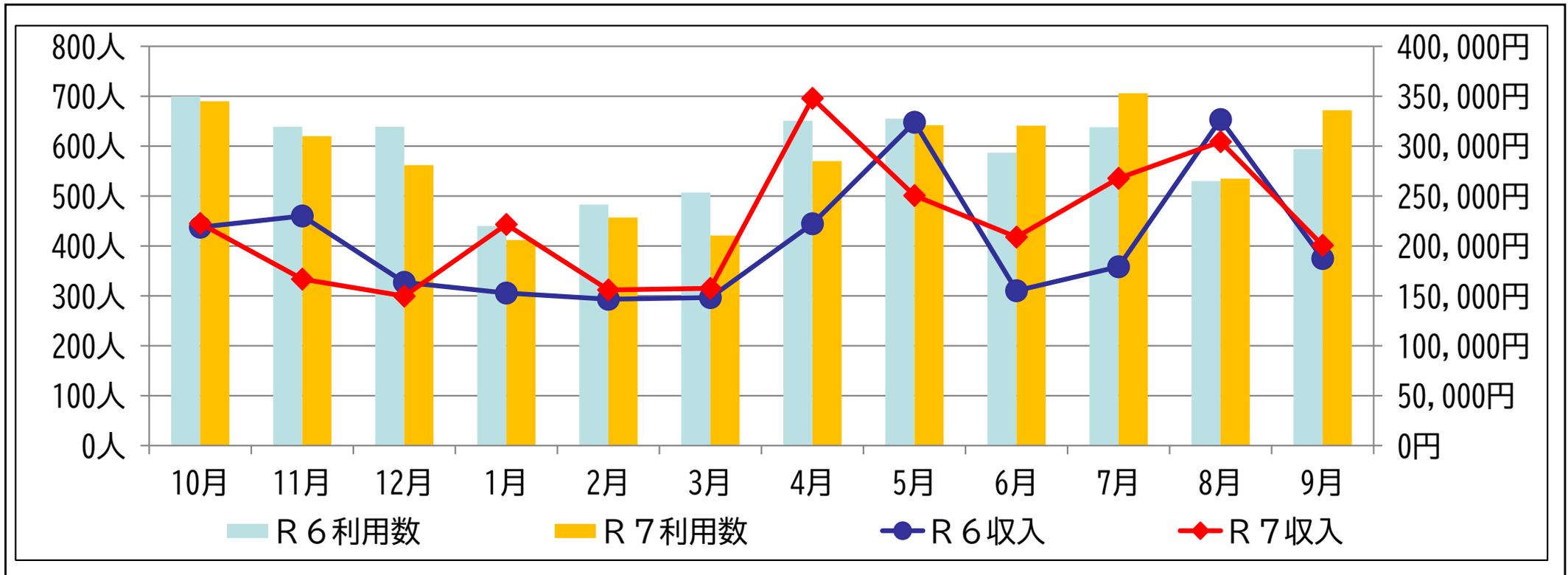
- ・利用実態や需要に合わせた運行を継続するため、対象地域住民に対してアンケート調査を実施した。（集計中）
- ・将来にむけて運行を持続するため、当該事業の実績及び必要性を地域住民へ説明し、積極的な利用の呼びかけを行った。

## 2) 運行系統



### 3) 利用実績

### 4) 収入実績



|            | 10月     | 11月     | 12月     | 1月      | 2月      | 3月      | 4月      | 5月      | 6月      | 7月      | 8月      | 9月      | 合計        |
|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| R6<br>利用者数 | 700     | 639     | 639     | 440     | 483     | 507     | 651     | 655     | 587     | 638     | 530     | 594     | 7,063     |
| R7<br>利用者数 | 690     | 620     | 562     | 412     | 457     | 421     | 570     | 642     | 641     | 706     | 535     | 672     | 6,928     |
| R6<br>運行収入 | 218,830 | 230,070 | 163,550 | 152,830 | 146,640 | 148,300 | 222,290 | 323,960 | 155,140 | 179,190 | 326,600 | 187,430 | 2,454,890 |
| R7<br>運行収入 | 222,530 | 166,790 | 149,750 | 221,580 | 155,940 | 157,540 | 347,940 | 250,520 | 208,920 | 267,780 | 304,470 | 200,680 | 2,654,440 |

## 5) 事業実施の適切性

- 天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー  
・事業は計画通り適切に実施された。

## 6) 目標・効果達成状況

- 天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー  
・総利用者数は前年度に比べて年間で135人減少し、一月平均は577人で、目標としていた一月平均650人には達しなかった。  
  
・利用者増減の内訳として、子ども5人と高齢者825人が減少したことに對し、大人が695人増加したことで、運賃収入が増加し、収支率は前年を上回る8.70%という結果となったが、目標収支率の10.0%には達しなかった。

## 7) 事業の今後の改善点

- 天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー  
近年の本事業における利用者数の増減については、対象地域から市内高校へ通う高校生の実人数の増減など、対象地域における人口減少や年齢構成の変化が影響しているものと考えられる。  
  
地元バス事業者が28年ぶりに消費税増税に伴わない乗合バス上限運賃の改定を行ったことに伴い、乗合タクシーの運賃についても改訂の検討を行い、収支率の向上を図る。  
  
利用者からダイヤ調整の声があったことから、地域、事業者と調整を取り、利便性の向上に努める。

## 8) 地方運輸局等における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・いずれの目標も達成することができなかったが、今後も地域公共交通計画に基づき、利用促進策の取組を継続することを期待する。
- ・持続可能な公共交通を維持する観点から、公的負担額といった事業効率の改善につながる目標を設定することもご検討いただきたい。